

# 2019年度第1期採択企業・目次

- ①株式会社アクセス  
電動バイク・電気自動車の製造・販売
- ②有限会社飯田製作所  
フッ素樹脂PTFE切削加工による樹脂ベアリング、接合PEEKギア事業
- ③インテグレーションテクノロジー株式会社  
理研ベンチャーによるモデルベース開発と光学CAE
- ④株式会社エアロジーラボ  
ドローンの開発製造
- ⑤株式会社エヌビー健康研究所  
MoGRAAディスクバリアーエンジンによる抗体医薬開発
- ⑥株式会社FJコンポジット  
FJコンポジットによる電気自動車部材の量産化
- ⑦コネクテッドロボティクス株式会社  
調理ロボットサービスの開発・販売
- ⑧株式会社S'UIMIN  
睡眠計測サービス
- ⑨株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ  
リハビリ×再生医療で完治する医療を
- ⑩セルジェンテック株式会社  
遺伝子導入加工脂肪細胞（GMAC）医薬品の研究開発
- ⑪セルスペクト株式会社  
アフターコロナ時代：セルフメディケーションを実現させるスイッチOTC検査薬開発推進事業社
- ⑫株式会社トライエッティング  
UMWELT（ウムヴェルト）
- ⑬歯っぴー株式会社  
AIテクノロジー等で普及を拡張させる口腔ケア事業による未病開拓
- ⑭株式会社ユニバーサルスペース  
シニアマーケットをリードする世界企業へ



## 株式会社アクセス

代表者	代表取締役 畑 翼
電話番号	055-236-8804
住所	〒400-0049 山梨県甲府市富竹4-4-14
ウェブサイト	<a href="https://access-trd.co.jp/">https://access-trd.co.jp/</a>
マッチングニーズ	事業提携：シェアリングサービスにおいて、ステーションの設置をさせていただける場所を保有している会社等 販路開拓：電気自動車を販売するルート

### 事業概要

#### 電動バイク・電気自動車の製造・販売

国内には、高齢化や地元の小売業の廃業、商店街の衰退などが原因で買い物がしにくい「買い物難民」や「買い物困難者」が800万人以上いると言われています。当社は、シニア層に最適な電動ミニカーの製造・販売を行う企業で、運転ミスが起これにくく安全で安価な移動手段を提供することを目的として事業を開始しました。

気軽な移動手段として最適な折り畳み電動バイクや、3人乗りもできる電動トライク、小型で小回りがきく電動トラックなどの製品を提供しています。

また、関連会社を通じて、折りたたみ電動バイクを使用した都市部向けのシェアリングサービスの開発も行っております。スマホアプリで予約・ロック解除・車両電源のオン/オフ・返却手続・決済まで対応可能。乗り捨て感覚で利用できる電動バイクのシェアリングサービスを2020年末にサービスを開始する予定で、2021年に都心部で200ステーション、500台のシェアリング車両の展開を計画しております。

### 強味・アピールポイント

当社は、2003年から電動バイク、2008年から小型の電動ミニカーを開発・販売しています。さまざまな電動車両を開発するノウハウが蓄積されており、シニア層向けに最高速度を抑え安全性と低価格を両立させた車両や、車幅約1mの小型電動トラックなど社会のニーズに応じた電動車両の開発が可能です。また、関連会社を通じて折りたたみ電動バイクのシェアリングサービスを提供するなど、新しいサービスの開発も行っています。

### 代表プロフィール

2001年からゴールドマン・サックス証券で株式アナリスト業務を担当し、2005年からTPG-Axon Capitalで上場株式へのロング・ショート投資業務等で上場株式の投資分析を経験。2008年からのElliott Advisors Asia Limitedでは不良債権、ノンリコースローン、不動産ポートフォリオの取得、会社更生案件のスポンサーシップ等を行いました。2013年、ランブラス・キャピタル株式会社を設立して以降、ハンズオンのプライベート・エクイティ投資を中心に投資事業を開始。2019年に株式会社アクセスの事業を承継し、電動バイク・電気自動車の開発を進める傍ら、関連会社のシェアード・モビリティ・ネットワークス株式会社を設立。電動車両を使用したシェアリングサービスの開発を行っています。



代表取締役  
畑 翼



## 有限会社飯田製作所

代表者	代表取締役社長 野渡 透一
電話番号	0243-64-2320
住所	〒969-1204 福島県本宮市糠沢字水上21-2 有限会社飯田製作所 福島第2工場
ウェブサイト	<a href="https://idaf.com">https://idaf.com</a>
マッチングニーズ	販路開拓：既部品（金属、ゴム等）から、フッ素樹脂 PTFE製部品への適用展開テストトライ

### 事業概要

#### フッ素樹脂 PTFE 切削加工による樹脂ベアリング、接合 PEEK ギア事業

主に、フッ素樹脂 PTFE や PEEK（ポリエーテルエーテルケトン樹脂）といった、軟部材樹脂の高度精密切削・加工することで、樹脂切削加工品を生産しています。当社は切削加工、大量生産のパイオニアとして、輸送用機器のエンジン部品やブレーキ部品、建機・産機、食品機械等のパッキン・シール類を製作しています。切削難易度の高い軟材料のフッ素樹脂の特性である“耐薬品性、防汚、絶縁性、自己潤滑性、低摺動抵抗”の利点を引き出す機械加工・切削治具の生産技術を有しており、安定した大量生産品質と、特にバリ、カエリが非常に少ない加工優位性があります。そのため、「小口径加工から大径リング加工（Φ1400mm）+大量生産（年間生産量1億個）」の設備体制を敷くことで、要望に応えることが可能です。次世代のEV車やFCV車用には軽量化・静音化が必須のため PEEK ギアの精密切削加工を比較的安価に切削できるC軸制御NC旋盤での加工実現を目指しています。2019年には「新しい東北復興ビジネスコンテスト」で「きらりものづくり賞」を、2020年には「グッドデザイン賞」を受賞しました。

### 強味・アピールポイント

“徹底したお客様目線でおお客様の課題を解決する”ことを信条に事業を進めています。お客様からは「大量生産、安定品質で信頼性が高い」との声を多く頂き、常に先人の知恵の活用と新たな技術革新を通じて、お客様にご満足の頂ける品質を追求してまいります。

### 代表プロフィール

有限会社飯田製作所は、およそ60年前に神奈川県横浜市で創業しました。当初は手動の電話交換機の抜き差しする端末工ボナイト材の勘合部分加工をはじめとした樹脂の加工を始め、フッ素樹脂 PTFE をメインとする樹脂切削加工のモノ作りを追求していました。当たり前を当たり前だと思わない、常識を常識だと思わない精神で、徹底したお客様目線に立ち、製品設計、製造設計、品質管理、及び商品開発を行っております。



代表取締役社長  
野渡 透一



# インテグレーションテクノロジー株式会社

代表者	代表取締役社長 船田 浩良
電話番号	048-458-5105
住所	〒351-0104 埼玉県和光市南2-3-13 和光理研インキュベーションプラザ105号
ウェブサイト	<a href="https://www.int-tech.co.jp/">https://www.int-tech.co.jp/</a>
マッチングニーズ	資金調達：テック系VC 事業提携：AIとの共同開発

## 事業概要

### 理研ベンチャーによるモデルベース開発と光学CAE

仕様書となるモデルを作成し、そのモデルをベースにソフトウェアを開発するという「モデルベース開発（MBD）」関連の開発・販売事業を行う企業です。数学、物理、エンジニアリングなど、高度な技術が要求される「プラント（制御対象）モデル開発」を軸として、自動車や機械、医療、エネルギー産業などの業界を対象に展開しています。

他にも、車体全体の挙動を解析する統合シミュレーションや、自動車のシステム開発で活用するシミュレータであるHILSの環境構築、各種コンサルティングなども実施。技術を普及させるために「制御塾」と題したトレーニング事業も行っています。

また、理化学研究所とともに、ものづくりの研究や開発工程で行われていた試作品のテストや実験をコンピュータ上で行い、分析する光学系のCAE技術の共同研究も進行中。レンズ等の光学部品製造でニーズが高まりつつあるシミュレーションシステム「V-Glace」は2020年末から販売を開始する予定です。

## 強味・アピールポイント

「モデルベース開発」と「光学系CAE」という2領域でのシミュレーション技術を保有しています。双方とも高度な技術が必要で参入障壁も高く、どちらの技術も持っている企業は世界的に見ても稀です。いずれも今後の急拡大が期待される市場であるため、今後は物理モデル（プラントモデル）開発力などの強みを強化しつつ、商品販売にも力を入れ、事業拡大に注力していきます。

## 代表プロフィール

大学卒業後、大手自動車メーカーにて金型設計などに携わり、その後シンクタンクにてプロジェクト企画など含めたさまざまな経験を積みます。特に、製造業のバリューチェーンでは、一貫してシミュレーションソフトウェアの観点から貢献できることにチャレンジしてきました。その中で、「モデルベース開発」を中心とするシミュレーションソフトウェアの位置づけが変わりつつあることを受け、変化するニーズに対応できる「理研ベンチャー企業」を設立使用と決意。物理モデル（プラントモデル）開発で世界を代表する企業にしたいと思っています。



代表取締役社長  
船田 浩良



## 株式会社エアロジーラボ

代表者	代表取締役CEO 谷 紳一
電話番号	072-722-3350
住所	〒562-0011 大阪府箕面市如意谷1-12-26
ウェブサイト	<a href="https://aerog-lab.com">https://aerog-lab.com</a>
マッチングニーズ	資金調達：ものづくり系を投資領域に持つVC 販路開拓：ドローンを業務に活用しようとしている自治体、企業

### 事業概要

#### ドローンの開発製造

マルチコプター（ドローン）をはじめとする無人航空機（UAV）の機体設計開発や製作、実証実験や共同研究の受託を行う企業として、2012年10月、大阪府箕面市に設立しました。ドローンは個人の趣味からプロフェッショナルの領域まで、さまざまな分野で活躍しており、設備点検や災害救助、航空測量、物資の運搬や配達などに利用されています。

2017年から、エンジン発電機搭載のハイブリッドドローンの開発に注力。国内のUAVの社会実装を加速させることを目標に事業展開を進めています。また、2018年から現在に至るまで岡山県での買い物弱者対応としての物流実験をはじめ、西日本で数多くの実証実験を実施。その他、ネットショップや、空撮・映像制作などのコンテンツ事業も行っています。

2019年3月には「京都市ベンチャー目利き委員会」にてAランク認定を授与。2020年2月に行われた「岡山テックブラングランプリ」ではMASC賞を受賞しました。

### 強味・アピールポイント

デザイン、設計開発から運用までのワンストップサービスを展開しています。また、バッテリー型のドローンの飛行時間の限界は10～20分程度のところ、国内で唯一、最大180分という長時間飛行が可能なハイブリッドドローンを実証実験レベルで運用することに成功しました。

### 代表プロフィール

大阪大学歯学部を卒業後、1993年に歯科医院開設。趣味で始めたラジコンを操作するうちに「空から景色が見たい、誰も見たことのない景色が見たい」という強い想いを抱くようになります。その後、マルチコプターの存在を知り、半年かけて一号機を製作。歯科医として活動する傍ら、2012年にAGLを設立。2018年の関西テレビ放送からの出資を皮切りに、資本金2億にまで成長させた国内ドローン界きっての草分け的存在です。



代表取締役CEO  
谷 紳一



# 株式会社エヌビー健康研究所

代表者	代表取締役 高山 喜好
電話番号	011-708-7156
住所	〒001-0021 北海道札幌市北区北二十一条西12丁目 北大ビジネススプリング202号室
ウェブサイト	<a href="http://www.nbhl.co.jp/jp/">http://www.nbhl.co.jp/jp/</a>
マッチングニーズ	資金調達：バイオ系のVC (ミドルステージ) 事業提携：抗体医薬系企業

## 事業概要

### MoGRAA ディスカバリーエンジンによる抗体医薬開発

呼吸器疾患を中心に線維症、慢性炎症、重症感染症、癌などの革新的な医薬品の開発を手掛けるバイオ創薬企業。キーテクノロジーとなっているのが、さまざまな病気の原因となるGタンパク質結合型受容体（GPCR）の機能を制御するための抗体を使用した医薬品を世界最高水準で発見するための「MoGRAA<sup>®</sup> ディスカバリーエンジン」です。

難病を治療するためのユニークな新薬コンセプトを自主研究で創出したり、MoGRAA<sup>®</sup> ディスカバリーエンジンを応用して新しいバイオ医薬の元となる抗体の開発を進めています。当社が開発製造した抗体医薬をグローバル製薬企業とともに、臨床開発、商用化を進め、世界中の難病に苦しむ人々にいち早く届けていきます。

現在は肺線維症、自己免疫疾患の新規抗体医薬の治験薬製造を準備中で、2022年中には臨床開発に入る予定です。重症感染症、固形癌、臓器線維症、加齢黄斑網膜症などに対する5つの抗体医薬シーズの開発プロジェクトを進めています。

## 強味・アピールポイント

線維症、慢性炎症、重症感染症など、画期的医薬品として認められている抗体シーズ（バイオ医療の元となる抗体）の物質特許を保有。また、抗体製造に必要な要素技術を持つ複数の欧州バイオ企業と提携し、製造開発の成功確率を高める工夫を行っています。平成28年度には「北の起業家表彰」で奨励賞を受賞。令和2年度は「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」に採択されました。

## 代表プロフィール

1967年札幌生まれ。1994年東京大学薬学系研究科で薬学博士号取得後、大正製薬株式会社に入社。新規医薬シーズの発掘、ゲノム創薬の立ち上げに従事し、呼吸器疾患治療薬の適応拡大を担当。2000年から2年半、ハーバード大学医学部付属病院のリサーチフェローとして心血管領域の基礎研究に携わり、ポストン界隈の先端バイオ企業による新薬開発を目の当たりにします。2006年に大正製薬退職後、株式会社エヌビー健康研究所を埼玉県川口市で創業し、その後札幌に会社機能を移転し、2016年にMoGRAA<sup>®</sup> ディスカバリーエンジンの開発に成功。ベンチャーキャピタルからの出資を機に、地域に貢献するグローバルなバイオ創薬企業を目指しています。



代表取締役  
高山 喜好



# 株式会社FJコンポジット

代表者	代表取締役 津島 栄樹
電話番号	090-2250-2291
住所	〒066-0009 北海道千歳市 柏台南2-2-3
ウェブサイト	<a href="https://www.fj-composite.com">https://www.fj-composite.com</a>
マッチングニーズ	資金調達：素材系に強いVC・CVC 事業提携：5G関連、自動車系の大手企業

## 事業概要

### FJコンポジットによる電気自動車部材の量産化

複合材料を開発しているベンチャー企業です。半導体やLED、液晶、太陽電池などの先端技術分野をはじめ、特殊な複合材料を手掛けています。主な製品は携帯電話の基地局等に用いられる「高周波通信素子用放熱板（ヒートシンク）」や、燃料電池を構成する部品の1つの「セパレータ」、電気自動車に使用する「コントロール素子冷却板」など。

独自技術でオンリーワンの製品は、電気自動車のパワーコントロールユニットに使用されるセラミックス絶縁回路基板やコンダクティブスペーサーとして使用されています。アメリカにも支社を置き、世界中の顧客に対してサービスを提供。コンテストにも多数受賞しており、2015年には「第6回ものづくり日本大賞」経済産業省大臣賞を、2017年には「北海道地方発明表彰」文部科学大臣賞を獲得しています。

## 強味・アピールポイント

主要製品の特許を国内外で取得。会社には営業部がなく、顧客からはメールなどで受注しており、海外輸出割合も50%近い数字を出しています。コロナ禍の2020年も、国内10社、海外7社の計17社とNDAを締結しています。

## 代表プロフィール

1982年、北海道大学院機械工学卒業後、東燃株式会社（現：JXTG）に入社し、炭素繊維の開発に従事。1997年に退職し、2002年静岡県でFJコンポジット設立、代表を務めます。その後、出身地・北海道で事業を拡大したいという思いから、2015年に北海道千歳市に本社工場建設・移転を行い現在に至ります。



代表取締役  
津島 栄樹



# コネクテッドロボティクス株式会社

代表者	代表取締役CEO 沢登 哲也
電話番号	03-4520-5786
住所	〒184-0012 東京都小金井市中町2-24-16 農工大・多摩小金井ベンチャーポート
ウェブサイト	<a href="https://connected-robotics.com/">https://connected-robotics.com/</a>
マッチングニーズ	資金調達：ロボティクス系に強いVC 事業提携：電鉄会社

## 事業概要

### 調理ロボットサービスの開発・販売

コネクテッドロボティクス株式会社は、「調理をロボットで革新する」をテーマに、飲食店のキッチンでの調理に特化したロボットサービスの提供を行っています。現在、国内の外食産業では人手不足がますます深刻化しており、調理の省力化や自動化が大きな課題となってきています。また、新型コロナウイルスの影響から、外食産業は非接触オペレーション等への変革も求められています。

この課題を解決するため、「製造業でのロボット製品開発経験から培われてきたロボット制御のノウハウ」と「ディープラーニングを活用したセンシングと学習技術」の組み合わせでロボットを知能化。キッチンで働く人々の仕事をサポートし、「働く人と食事をする人の両方に喜びを提供するロボットサービス」の開発を進めています。

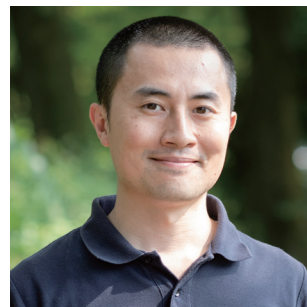
その他、J-Startup認定企業やNEDO「研究開発型ベンチャー支援事業」採択企業、東京都ものづくりベンチャー育成事業TokyoStartupBEAMプロジェクト採択企業等にも選出されました。

## 強味・アピールポイント

創業者の沢登は長年培ってきた高いロボット技術と飲食店で働いた体験をもとに、外食産業の課題解決に強いこだわりと野心を持ち、事業を展開しています。これまで開発してきた調理ロボットを、長崎ハウステンボス、イトーヨーカドー、JR駅そば店など複数の大手外食チェーン企業に導入し、継続利用いただいているという実績もあります。世界中から優秀なメンバーを揃え、ロボット制御や画像認識、AI技術など高い専門技術を保有しています。

## 代表プロフィール

1981年生まれ。東京大学工学部計数工学科卒業。京都大学大学院情報学研究科修了。大学時代はロボットの研究活動に没頭して過ごしました。実家が飲食店を営んでいたこともあり、2008年大学院卒業後は、テクノロジーによる新しい飲食店舗の創造を目指して大手外食チェーンに入社し、新規飲食店の立上げと既存店舗の再生に携わりました。その時に人出不足や重労働を身をもって体感し、一時は外食産業を退くも、その後はロボット開発技術を更に深め、2014年に当社を起業。「調理をロボットで革新する」のビジョンのもと、外食産業が抱える課題を解決する調理ロボットシステムを多数展開しています。



代表取締役CEO  
沢登 哲也





## 株式会社 S'UIMIN

代表者	代表取締役社長 藤原 正明
電話番号	03-6276-3662
住所	〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
ウェブサイト	<a href="http://www.suimin.co.jp/">http://www.suimin.co.jp/</a>
マッチングニーズ	事業提携：睡眠関連商品取扱ベンチャー企業 販路開拓：睡眠関連商品取扱大手企業

### 事業概要

#### 睡眠計測サービス

株式会社S'UIMINは、2017年10月17日に筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構発のスタートアップとして発足しました。「世界中の眠りに悩む人々の希望の光となる」をビジョンに、誰でも簡単に高精度な測定ができる睡眠計測サービス「InSomnograf<sup>®</sup>」を開発。InSomnograf<sup>®</sup>は、誰でも自宅で簡単に装着できるデバイスとAIを活用した解析技術によって、病院などで使われる脳波等の生体電位を測定する「終夜ポリソムノグラフ（PSG）検査」と同等の計測が可能です。

2020年9月に企業や研究機関向けの研究開発支援事業をローンチし、自社製品が睡眠に与える影響の評価や、特定の疾患と睡眠の関係を調べる研究等に活用されています。今後は、健康経営に取り組む企業、健診センターや睡眠クリニック等への事業を展開する予定です。睡眠障害の適切な予防・診断・治療を可能にし、一人ひとりが睡眠で悩むことなく幸せに生活を営める社会の実現を目指します。

### 強味・アピールポイント

InSomnograf<sup>®</sup>は、病院レベルの睡眠時の脳波計測が自宅で簡単に受けられるサービスです。睡眠の質を細かく高精度に判定し、睡眠トラブルの発見につなげられます。装着性の良い電極を利用し、寝心地を妨げずに正確な脳波を記録できるデバイスと、脳波を瞬時かつ正確に解析する人工知能（AI）を採用することによって、病院での検査と遜色のない精度を実現しました。AIは筑波大学計算科学研究センターとの共同で開発し、熟練の臨床検査技師による解析結果との一致率が80%を超えています。

### 代表プロフィール

1987年、中外製薬株式会社に新卒で入社。研究者としてバイオ製品の承認獲得や研究戦略・支援、US子会社でのライセンス活動や本社・研究部門などへの支援、開発品のポートフォリオ管理・ライセンス業務に従事。2000年にPwCコンサルティングへ入社し、プロジェクトリーダーとして、大手医薬企業のプロジェクトマネジメントシステム導入や業務改善プロジェクトに携わります。2003年にはクインタイルズトランスナショナル株式会社へ入社し、2005年にカイオム・バイオサイエンスを設立。2011年には東京証券取引所マザーズ市場への上場を果たしました。2017年に同社を退職し、株式会社S'UIMINを設立、代表取締役に就任しました。



代表取締役社長  
藤原 正明



# 株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ

代表者	代表取締役 河原 裕美
電話番号	082-257-1501
住所	〒734-0037 広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学霞総合研究棟210号室
ウェブサイト	<a href="http://spacebio-lab.com">http://spacebio-lab.com</a>
マッチングニーズ	資金調達：医療機器系に強いVC、ヘルスケア系CVC

## 事業概要

### リハビリ×再生医療で完治する医療を

現代医学では完治できない疾病を完治する医療を実現することをミッションとし、患者に生きる希望を与えるソリューションを提供します。完治にはリハビリと再生医療の融合が鍵になると考え、重力制御装置「Gravite（グラビテ）」と歩行支援ロボット「RE-Gait（リゲイト）」を販売しました。

Graviteは、地上で無重力環境を再現する装置です。NASAでも使用されており、広島大学との研究では、無重力環境で移植効果の高い幹細胞が培養できると判明しています。RE-Gaitは、足関節のみを補助することで脳卒中片麻痺の患者さんの歩行の再学習を助ける装置です。広島大学・弓削類教授と早稲田大学・田中英一郎教授との医工連携、産学連携で開発されました。

GraviteとRE-Gaitに加え、現在開発中の製品やサービスを統合したスマートメディカシティ構想の実現に向けて、加速的に事業を進めています。

## 強味・アピールポイント

2019年に第2回ユニコーンプログラム メインアクセラレーター最優秀賞、第8回ものづくり日本大賞優秀賞（RE-Gait®）を受賞。2020年から、広島大学と株式会社ツーセルとともに、患者本人の頭蓋骨から間葉系幹細胞（さまざまな細胞に変化する能力を持った細胞）を培養して静脈に投与することで脳梗塞患者の治療の安全性を向上させるための臨床試験を開始しました。完治する医療事業を進めるため、2020年度中の資金調達を計画しています。

## 代表プロフィール

2005年に広島大学・弓削教授とともに、大学発ベンチャー「有限会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ」を創業。2011年に株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズを設立し、創業時より代表取締役を勤めています。重力制御装置 Graviteと歩行支援ロボット RE-Gaitの開発に携わり、販売へと尽力。現在は保健学博士としても活躍しており、科学雑誌のPLoS ONE（プロスワン）に掲載した、Graviteによって幹細胞の未分化が維持できると記した論文は、世界中から引用されています。



代表取締役  
河原 裕美



## セルジェンテック株式会社

代表者	代表取締役社長 麻生 雅是
電話番号	043-441-4121
住所	〒260-0856 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-15 千葉大亥鼻イノベーションプラザ207
ウェブサイト	<a href="http://www.cellgentech.com/">http://www.cellgentech.com/</a>
マッチングニーズ	資金調達：ライフサイエンス系VC 事業提携：製薬企業

### 事業概要

#### 遺伝子導入加工脂肪細胞（GMAC）医薬品の研究開発

千葉大学発ベンチャー企業として、ヒト脂肪細胞を使用した遺伝子導入細胞医薬品（Genetically Modified Adipocyte：以下GMAC）の研究開発に取り組んでいます。GMACとは、タンパク質や酵素をつくり出す仕組みを患者の体に与える医薬品のこと。患者から採取した脂肪細胞にタンパク質や酵素を生成する遺伝子を組み込み、それを自家移植させることで、患者が必要とするタンパク質や酵素を体内で長期的に分泌し続けられるようになります。

通院や治療にかかる負担が大幅に軽減されるのも利点です。患者やその家族のQOL（生活の質）が劇的に改善します。特に、遺伝性疾患の難病や生活習慣に伴うタンパク質や酵素の補充に期待されます。

また、GMACは細胞に導入する遺伝子を変えることで、さまざまな疾患治療に応用が可能。この技術を他の疾患にも幅広く展開させ、難病に苦しむ数多くの患者の健康に寄与し、医療貢献を目指します。

### 強味・アピールポイント

投与患者の範囲が広く、安全性、低侵襲性、効果の持続性など技術面には自信があります。導入する遺伝子を変えることでさまざまな疾患に応用できるGMACの技術プラットフォームを有するのは当社のみ。2018年9月には、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の平成30年度「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業（再生医療シーズ開発加速支援）」の補助対象として採択されました。

### 代表プロフィール

1981年に北海道大学を卒業後、エーザイ株式会社へ入社し、医薬事業推進のためのプロダクトマネージャーとして商品育成を行ってきました。また、市販後臨床や臨床開発に携わりました。その後、2001年アンジェス株式会社で臨床開発責任者を担当。事業企画担当も兼任し、新規核酸医薬品及び遺伝子治療の開発推進に努めました。そして、2004年にセルジェンテック株式会社代表取締役社長に就任し、現在に至ります。



代表取締役社長  
麻生 雅是



## セルスペクト株式会社

代表者	代表取締役 岩淵 拓也
電話番号	019-681-6710
住所	〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2-4-23
ウェブサイト	<a href="https://www.cellspect.com/">https://www.cellspect.com/</a>
マッチングニーズ	事業提携：医療機器メーカー 販路開拓：小売チェーンマート

### 事業概要

#### アフターコロナ時代：セルフメディケーションを実現させるスイッチOTC検査薬開発推進事業

簡単に健康チェックができる臨床検査キットを開発しているメーカーです。指先血による臨床検査技術(FMP: FingerbloodMultiparametersPanel)を活用した、生活習慣病に関する多項目同時診断試薬キットや、免疫化学的な手法を利用した新興感染症の抗原・抗体検出試薬キットを展開。これらのアイテムを全国のドラッグストアチェーンに展開させ、薬以外の相談もできる健康サポート薬局や、処方箋なしでも薬を販売できる未来を目指しています。また、新興国等ではリーズナブルですぐに利用できる医療用検査製品としての波及を促進しています。

さらに、子宮内膜症や子宮頸がんといった次世代診断システムの実用化にも注力し、自社製品を全世界の人々に提供する仕組みを確立し、アフターコロナ時代におけるSDGs 目標「すべての人に健康と福祉を」の実現に挑戦しています。

### 強味・アピールポイント

経済・技術的に実現が困難だった、指先血による多項目同時迅速検査製品の実用化に成功し、全国に波及させるため、小売やドラッグストアチェーン網を構築しています。さらに、疾患となっている箇所を検出する技術と研究開発の機動性を活かし、国産初の新型コロナウイルス抗体検査キットの大規模流通を成功させました。2020年にはSMBCスタートアップ支援プログラム最優秀賞を受賞しています。

### 代表プロフィール

慶應義塾大学医学部総合医科学研究センター特別研究教員、大手診断薬メーカー、パイオベンチャー企業を経て、2014年、盛岡市にセルスペクト株式会社を設立。2017年にJAPANVENTUREAWARD 中小機構理事長賞、2018年東北アントレプレナー大賞を受賞。2018年には経産省より「地域未来牽引企業」に選ばれ、2020年は新型コロナウイルス感染症の臨床医学的研究と対策アイテムの開発事業で、新型コロナ渦スタートアップ支援のコンペティション（三井住友銀行グループ主催）にて全国最優秀賞を受賞しました。



代表取締役  
岩淵 拓也



# 株式会社トライエッティング

代表者	代表取締役社長CEO 長江 祐樹
電話番号	052-979-2110
住所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1-20-22 セントラル名古屋葵ビル4階
ウェブサイト	<a href="https://www.tryeting.jp/">https://www.tryeting.jp/</a>
マッチングニーズ	資金調達：CVC 事業提携：メーカー、卸、小売等

## 事業概要

### UMWELT (ウムヴェルト)

単純作業や、膨大で多様なデータ仕事を自動化するための、AI技術の研究開発やライセンス販売を行っている企業です。主に、認識・未来予測・最適化などの知能作業の自動化を手がけています。AI技術の導入には、莫大な導入コストがかかったり、クライアントに合ったシステムの開発期間が長大化することが課題でした。そこで、プログラミングをすることなく、簡単に分析や自動化が可能な「UMWELT (ウムヴェルト)」というシステムを開発。企業の基幹システムへ提供しています。

特にTRYETINGでは、在庫管理・勤務シフト管理を中心としたサプライチェーンに関わるヒト・モノの最適化を得意とし、メーカー・小売・物流・商社など幅広い領域で「知能業務自動化」に取り組んでいます。

2018年10月には、イノベーションを起こした人物が表彰される「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2018」の東海・北陸大会審査員特別賞を受賞。2020年8月には「MicrosoftforStartups」に採択されました。

## 強味・アピールポイント

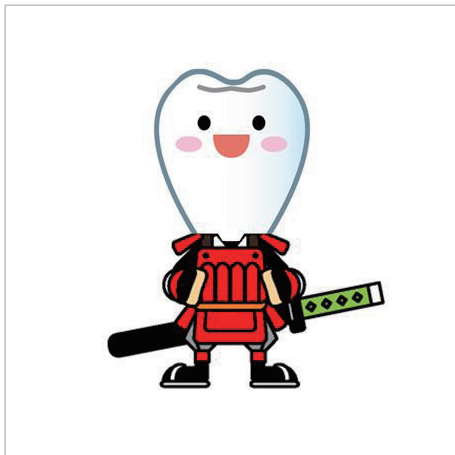
これまで、商品の原料調達から製造、物流、販売というサプライチェーン領域で人や物の最適化に取り組んできました。名古屋では数少ないAI系事業者として、豊田合成様、三井物産様など多くの大企業との取り組みを実現してきたノウハウやアルゴリズム基盤を持ち合わせているため、簡単に各社の事業に合わせたカスタマイズも可能です。

## 代表プロフィール

1989年愛知県生まれ。名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了後、2016年-2017年米国スタンフォード大学にて客員研究員を務める傍ら、現地スマートウォッチ開発スタートアップに参加し、AIソフトウェア開発支援を行います。アカデミックではAIを用いたハイテク新材料発見技術「MaterialsInformatics」を専門に研究。その後、2016年にTRYETING創業し、代表に就任しました。



代表取締役社長CEO  
長江 祐樹



## 歯っぴー株式会社

代表者	代表取締役社長 小山 昭則
電話番号	096-343-3265 当面は在宅勤務のため 050-5374-4859
住所	〒861-5513 熊本県熊本市北区鶴羽田町1041番地57
ウェブサイト	<a href="https://plaque-detection.jimdo.com/">https://plaque-detection.jimdo.com/</a>
マッチングニーズ	資金調達 事業提携/販路開拓：製薬会社、医療機器、小売り、オーラルヘルスメーカー、健診委託機関、人間ドック機関、有料老人ホーム、介護施設等

### 事業概要

#### AIテクノロジー等で普及を拡張させる口腔ケア事業による未病開拓

私たちの生活習慣の歯磨きの磨き残しを確認するには歯垢着色液を利用するしかなく、着色後に除去する行為に不便さを感じるという課題がありました。これを解消するために開発したのが、2020年2月に発売した歯垢・歯石ライトという製品です。口に光を照らすだけで歯垢や歯石を赤く発光させ、目視で簡単に磨き残しを確認できるため、口内環境改善に役立てることができます。

また、磨き残しなどによって歯垢・歯石がたまるとう歯周病を引き起こします。一般的な歯周病検査は、歯周ポケットに針を刺す形で行われますが、痛みを感じるケースが多く不快感がありました。そこで、2019年12月にスマートフォンなどの携帯端末で歯周病リスクを予測するAI画像処理を開発。自覚症状なく進行しやすい歯周病ですが、早期治療への気づきを提供することで、歯の損失を予防し、全身の健康維持・推進へ寄与できると考えています。

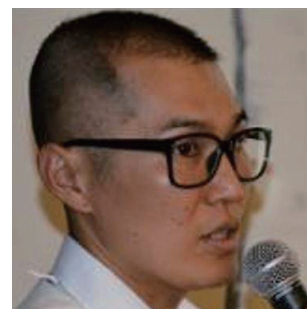
### 強味・アピールポイント

歯っぴーは、お口の健康維持に必要な可視化技術をオンライン・オフラインとの両面から提供することができます。日常の歯磨きを可視化する技術は、独自の光学設計技術による歯垢・歯石ライトという製品で、光を当てるだけでプラークを可視化できます。

また、歯科医院で行う歯周病検査の「痛い」「怖い」「面倒」3重苦をAIテクノロジー等で、歯周病専門医の眼を再現できます。加えて、データ蓄積し、他の疾患と紐づけることで、医科と歯科との垣根をなく治療することができます。

### 代表プロフィール

大手電機メーカーで研究開発や社内新規事業創出に従事。2017年の熊本地震後の災害ボランティア活動で得た経験から得た痛みを、AIテクノロジー等で一躍を担うために2018年1月に歯っぴー株式会社を起業しました。重視していることは、2017年以降の骨太方針で明記された「口腔の健康は全身の健康にもつながる」を実現することです。その中で、我々が担うのは3つです。第一に、社名の通り「お口に特化したサービス開発」、第二に、「エビデンスに基づくサービス提供」、第三に、ITリテラシーが高くない方でも利便性を感じて頂くため「オンラインとオフラインの両方のサービス提供」を行うことで、口腔の健康からアンチエイジング、医療費削減を実現します。



代表取締役社長  
小山 昭則



## 株式会社ユニバーサルスペース

代表者	代表取締役 遠藤 哉
電話番号	045-548-8829
住所	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-26 石川ビル7F
ウェブサイト	<a href="https://universalspace.jp">https://universalspace.jp</a>
マッチングニーズ	事業提携：部材の商品開発、IT企業との共同開発 販路開拓：中堅・大手企業のシニアマーケット

### 事業概要

#### シニアマーケットをリードする世界企業へ

介護が必要な高齢者が自宅で快適・安全に生活できるよう、手すりの取り付けや段差を解消するなど、住環境を最適化する「介護リフォーム」を主な事業としています。

介護リフォームに特化した事業を展開してきたため、蓄積されたノウハウやITによる業務効率化などによってフランチャイズ化に成功。「介護リフォーム本舗®」というチェーン名で全国95店舗を展開しています。

また、リフォーム業界初となる写真を撮影することで寸法の計測と見積作成ができるAIアプリを開発。現地調査を行う当日に図面、見積もり、契約がすべてを完了可能となりました。これによって、より一層早いサービスが提供できると同時に、働き方改革にもつながり、今後の在宅介護業界を革新する事業になると確信しています。現在は多くの工事実績、店舗ごとの数多くの成功事例が生まれ、新サービスの「理由書作成AIアプリ」の開発に取り組んでいます。

### 強味・アピールポイント

全国3,000社の介護事業者とのネットワークがあり、フランチャイズ本部としてのノウハウや人材育成のための独自の研修システム、独自のブルーオーシャン戦略を保有していることが強みです。また、AIやITを活用することによってスピード対応が可能。ビジネスモデル特許も2つ保有しており、現在も2つの特許を申請中です。2019年には「神奈川県かながわビジネスオーディション2019」にて神奈川県知事賞・来場者賞を受賞しました。

### 代表プロフィール

1998年、新卒で積水ハウス株式会社に技術職として入社し、在籍中の11年間で300棟以上の新築注文住宅の工事責任者を経験しました。2006年に新築の担当をしたお客様の介護リフォームを経験したことがきっかけで、介護リフォーム事業のスタートを決意。その後、全国の多くの高齢者が、自宅で安全な生活ができていない状況を知り、「日本の高齢者が元気になることは、自立支援介護になる」という信念で全国に介護リフォームを普及させようと邁進しています。また、一級建築士、一級建築施工管理技士、一級土木施工管理技士等、15種類の資格も保有しています。



代表取締役  
遠藤 哉